



スポーツ・フォー・トゥモロー

貴団体のスポーツ国際交流・協力の 活動事例に関する動画作成のご依頼



SPORT
FOR
TOMORROW

更新：2025.6.24



1.背景や想い

2.プロジェクト概要

3.動画内容

4.ご依頼概要（提出方法）

5.動画作成～公開までのフロー

1.背景や想い

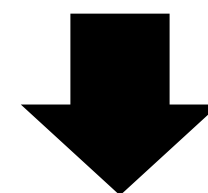


スポーツ国際交流・協力活動を行う
他の団体の活動が見えない(SFTC会員A)



活動を共有する場が少なく、孤立しがち。
自団体の活動を広く共有できる場が必要(SFTC正会員B)

スポーツ国際交流・協力活動の
幅広い可能性や価値が十分に伝わっていない・・・



**皆様のスポーツの「特質」や「価値」を活用した
スポーツ国際交流・協力活動の好事例に関する
動画を広く発信する必要性！**

2.プロジェクト概要

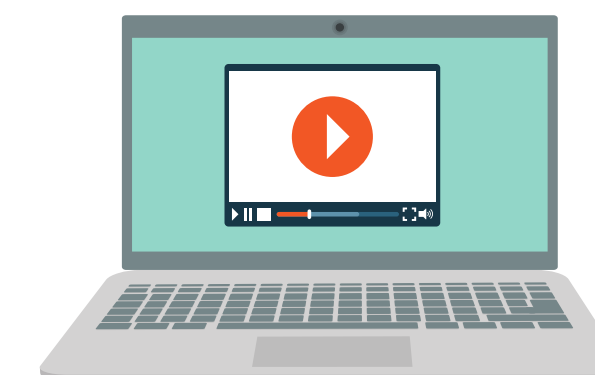
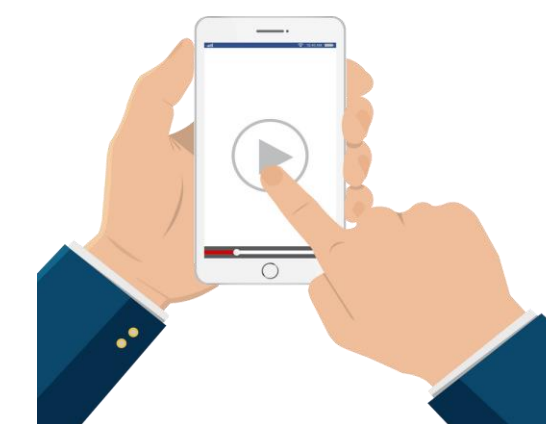
(1)目的:SFTC正会員が実践する、スポーツの価値や特質を活かしたスポーツ国際交流・協力の好事例を発表動画として収集し、SFTのホームページなどを通じて国内外に広く発信していくこと。
あわせて、正会員同士がそれぞれの取組や実践方法を共有することで、スポーツの特質の活用方法に対する理解を深めることを目的としています。

(2)掲載期間:通年

(3)掲載場所:ご提出いただいた動画は、以下の媒体を通じて順次公開・発信いたします。

- ・SFTオンラインコミュニティ(Tailor Works)
- ・SFT公式YouTubeチャンネル
- ・SFTメールマガジン
- ・SFT公式SNS(X、Facebook)
- ・SFTホームページ(SFTアクションページ)※現在改修中・準備が整い次第掲載予定

(4)掲載内容:スポーツ国際交流・協力活動に関する好事例を紹介する発表動画(15分以内)



ーイメージ図案ー

SFTC2024ANNEX LABEL

Sport For Tomorrow COLLECTION

Sport For Tomorrow COLLECTIONは、

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）コンソーシアム会員が実践するスポーツ国際交流・協力活動の好事例を紹介するコレクション。

国内初。スポーツ国際交流・協力を実践する各ステークホルダーの活動や資料が閲覧できるサイトです。

テーマ：×××××

活動事例



[タイトル]●●団体

活動事例



[タイトル]●●団体

活動事例



[タイトル]●●団体

3.動画内容

(1)動画内容:

- 団体の概要: 団体の設立背景や目的等
- プロジェクトに関する発表:プロジェクトの背景、目的、目標、活動内容(ロジックモデル等での説明も可)、成果、課題、今後の展開を詳細に説明
 - 案件・事業名
 - 当該プロジェクトに至った背景やストーリー、プロジェクトに関する状況や課題: 活動のきっかけとなった背景や対象国・地域及び国内の対象者・地域の課題とニーズ等
 - **プロジェクトの目的と目標: プロジェクトゴール、事業目的、期待される成果、評価方法等**
 - 活動内容: 活動時期、活動場所、主な対象者、支援・協力団体、内容等
 - **スポーツの価値や特質の活用方法:** プロジェクトにおいて、何のスポーツの価値や特質を、どのような課題に対してどのように活用しているか等
 - 成果: 参加者数、満足度などの定量的成果とコメントやフィードバックなどの定性的評価
- 課題や教訓
- 今後への展開、メッセージ

(2) 動画時間: 15分以内が目安ですが、内容に応じて最大30分まで可能です(★更新)。

(3)言語: 日本語

(4)作成方法: Zoom、Microsoft、TeamsなどのWeb会議ツールを使用した録画(カメラはオン)、または発表者が画面と共に映る形でモニター画面を直接撮影(例:カメラ等での外部撮影)。

(5)備考: 英語字幕を付けていただくことも可能です(任意)。



3.動画内容

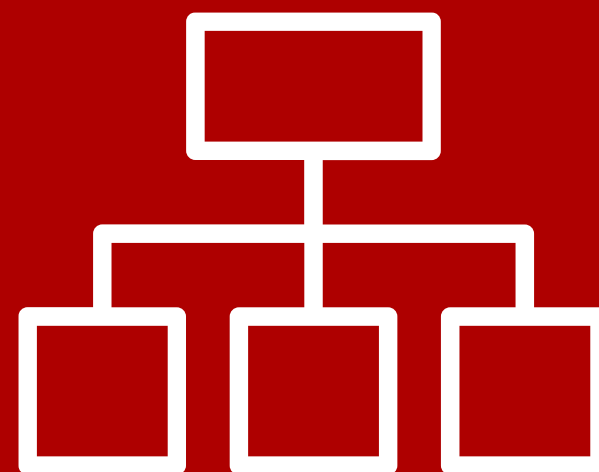
動画をご作成の際には、下記3つのポイントを必ず含めてください！

01.プロジェクトに至った
背景やストーリー



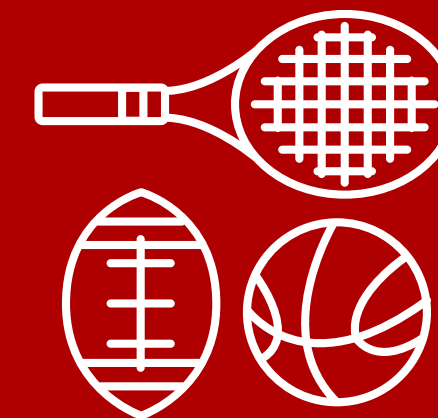
プロジェクトを始めるきっかけとなった
出来事やエピソード

02. 目的から
評価まで分析



プロジェクトの目的、目標、
活動、評価方法まで

03.スポーツの
特質や価値の活用方法



特定のスポーツのどのような特質を
どのように活用しているか

4.依頼概要(提出方法)

- (1)依頼内容: 貴団体におけるスポーツ国際交流・協力事例に関する発表動画の作成
- (2)動画内容: 団体概要、プロジェクト内容に関する発表、今後の展開、メッセージ等(3.動画内容に基づく)
- (3)動画作成方法:
 - ・ 資料作成方法: パワーポイントやGoogleSlide等で資料を作成。
 - ・ 動画作成方法: Zoom、Microsoft、TeamsなどのWeb会議ツールを使用した録画(カメラはオン)、
または、発表者が画面と共に映る形でモニター画面を直接撮影(例:カメラ等での外部撮影)。
 - ・ 動画時間: 15分以内が目安ですが、内容に応じて最大30分まで可能です(★更新)。
 - ・ 言語: 日本語
 - ・ 備考: 英語字幕を付けていただくことも可能です(任意)。
- (4)提出方法: 以下の提出フォームからGoogle driveまたは他のファイル共有サービスを使用して、
ダウンロードURLをご提出ください。
- (5)提出フォーム: https://www17.webcas.net/form/pub/sft/apply_video
- (6)ファイルについて
 - ・ ファイル名 :「SFT Practice_団体名」
 - ・ ファイル形式: mp4形式(容量上限なし)

5.動画作成～公開までのフロー

Step1



動画作成

Step2



提出

Step3



SFT公式Youtubeでの公開

Step4



SFTオンライン

コミュニティでの共有

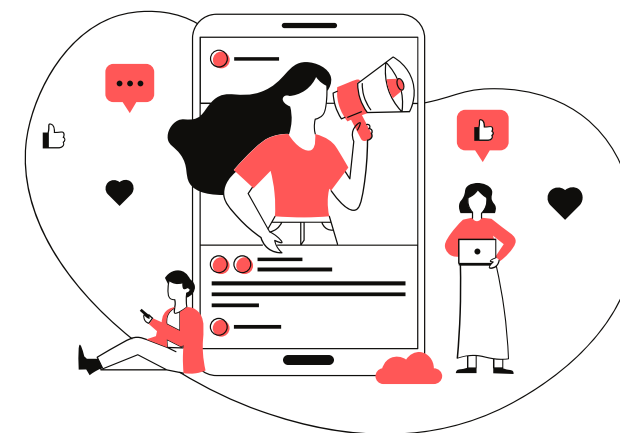
Step5



SFTメールマガジンでの

配信

Step6



SNS発信(X, Facebook)

Step7



SFTホームページへの掲載

(準備中)

6. サンプル動画

1. 一般財団法人アフリカ野球・ソフト振興機構
野球が創るアフリカと日本の未来 ～スポーツ国際協力の可能性と価値～

<https://youtu.be/8GvbfL1K2ps>



2. 一般社団法人Seeds
～サッカーを通じて世界の”つながりの総量”を増やしていく～

<https://youtu.be/h0pBSn50hnQ>



3. イッポラボ合同会社
インド共和国にて取り組むスポーツ国際協力事業について

https://youtu.be/1qMFnOD_j4g



7. 参考資料

ロジックモデルやモニタリング評価については、以下の内容をご参照ください。

1. 日本スポーツ振興センター. (2024). SDGs達成へ向けたスポーツの活用ガイドブック. 取得元 <https://www.iir.jpnsport.go.jp/jp/sdgs/#page=1>
2. JICA. (2021). 事業評価ハンドブック (Ver.2.0). 取得元 https://www.jica.go.jp/Resource/activities/evaluation/guideline/ku57pq00001pln38-att/handbook_ver.02.pdf
3. JICA. (2023). ロジックモデル作成マニュアル. 取得元 https://www.jica.go.jp/Resource/priv_partner/announce/ku57pq00002avzzc-att/ve9qi8000000f7sz.pdf
4. 日本財団. (2019). ロジックモデル作成ガイド. 取得元 https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2019/01/gra_pro_soc_01.pdf
5. SIMI 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ. (2024). ロジックモデル. 取得元 https://simi.or.jp/tool/logic_model

連絡先

独立行政法人日本スポーツ振興センター

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局

TEL: 03-6804-2776

E-mail: sft.info@jpnsport.go.jp

*SPORT
FOR
TOMORROW*



**皆さんと共に、スポーツ国際交流・
協力活動の可能性を広げましょう！**